

北海道水産会

NO.275

February ◆ 2021



北海道水産会

CONTENTS

No.275
◆2021◆

新年のごあいさつ……………1
 令和2年度 後期活動のあらまし……………2
 ■ 1. 2021年 新年の集い
 ■ 2. 2021年に向けた北方四島周辺海域の操業に係る日口漁業交渉
 ■ 3. 2021年操業の日口地先沖合漁業に係る取り組み
 ■ 4. 令和2年度 北海道水産会 第2回理事会開催
 北方地域漁業権をめぐる活動……………5
 ■ 1. 北方地域漁業権補償推進委員会理事会と代議員会の合同会議開催
 ■ 2. 北方地域漁業権補償推進委員会の道及び中央への要請
 魚食普及・食育PR活動……………6
 1. 魚食普及・食育PR
 漁師になりたい人々と浜をつなぐ活動……………7
 1. 漁業人材育成総合支援事業
 2. 北海道漁業就業支援事業
 3. 漁業就業体験サポート委託事業
 ◎長期研修生に対する面談活動
 ◎集まれ！2020漁業就業体験
 ◎農林漁業新規就業安心サポート事業
 ◎渡島管内漁業就業対策事業マッチングフェア
 刊行物紹介……………10
 北海道クロマグロ資源管理体制強化推進協議会……………11
 水産会HP、リニューアル!!……………11
 2021北海道漁業就業支援フェアのご案内……………12
 トピックス ー水産会事務所のちょっとしたリニューアルー……………13

◆表紙の写真

2.11.6 北海道庁	2.9.1 利尻島	2.10.6 上磯郡漁協
2.9.29 寿都町漁協	2.11.25 安操交渉	2.9.29 寿都町漁協
2.7.9 浦河町	2.9.12 石狩湾漁協	2.2.15 札幌フェア

新年のごあいさつ

一般社団法人 北海道水産会 代表理事会長 川崎一好

新年あけましておめでとうございます。令和3年の元旦を迎えるにあたり、皆様に謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は、新型コロナウイルスの流行のため本会の事業にも多大なる影響がありました。皆様の格別なるご支援とご協力により無事乗り越えることができました。衷心よりお礼申し上げます。

昨年の本道の水揚げ状況は、前年に引き続き100万トンを上回る実績となりましたが、魚価はコロナ禍の影響により多くの魚種で落ち込み、金額は昨年と比べ大幅に下回りました。こうした中、ネット販売で巣ごもり需要を開拓し収益を上げた例も見られ、社会環境の変化に対応した好事例だと思えます。

また、近年海洋環境の変化、特に暖水塊の影響等によって、これまで本道を代表する秋鮭、サンマ、イカが不振となり、そして交代するようにマイワシやブリの漁獲が増えてきました。そうした中、マイワシについては道内での消費が少ないため、その利用と消費の拡大に向けて道が札幌、釧路、旭川など7都市圏の飲食店に参加を呼びかけ、10月に「マイワシフェア」を開催しました。その結果、「手ごろな価格、脂乗りや鮮度、身質が良い」などと好評で、これまでマイワシの取り扱いの無かった店舗でもフェアを機に提供を行うなど、大きな成果を上げることができました。今後も漁獲状況を最大限に生かした販売・流通へのアプローチによる消費拡大の取り組みが期待されることです。

日口関係におきましては、例年モスクワで行っていましたが、北海道水産会が、コロナ禍の影響により交渉開始以来はじめて東京でWEB会議などにより行われました。このような異例な形での交渉になりましたが、交渉妥結に向けご尽力いただきました。今後の交渉がどのような形で行われても良いよう、これまで以上に関係機関と連携をとって取り組んでいきたいと考えております。

このように、海洋環境のみならず、社会環境も大きく変わって来ており、こういう時だからこそ、業界一丸となって変化に対応し、この試練を乗り越えて行く決意であります。北海道水産会は、今年も本道水産業の発展のために国や道・水産団体はもとより、漁協や市町村の皆様方と一体となって最大限の努力をして参りますので、皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、一日も早い新型コロナウイルス感染の収束と、皆様のご健康をお祈り申し上げますと共に、新しい年が海難事故がなく、豊漁に恵まれた夢と希望に満ちた年になります様心からご祈念申し上げます。



令和2年度後期活動のあらまし

2021年 新年の集い

「2021年 新年の集い」につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大が収束していないことなどから、来場者の健康と安全を第一に考慮し、開催を中止いたしました。



【海上安全、豊漁祈願！】

2021年に向けた北方四島周辺海域の操業に係る日ロ漁業交渉

北方四島周辺海域における2021年の操業条件を決める民間交渉は、令和2年11月24日と25日、本会の山崎副会長を交渉団長にウェブ会議にて行われました。

日本側交渉団は山崎団長のほか、北方四島周辺海域操業対策協議会会長萬屋昭洋氏（羅白漁協組合長）、協議会事務局藤本巧氏（同指導部次長）、本会斉藤課長から構成されており、これにオプザーバーとして外務省と水産庁、道の担当者が同席しました。対するロシア側出席者は、トカチェンコ連邦漁業庁国際協力局課長を代表に、同庁及び連邦保安庁国境警備局関係者でした。

この交渉は例年モスクワで行われていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により渡航が困難であることから、交渉

史上初めて日露参加者がモニター越しに議論することになりました。

日本とモスクワとの間に6時間の時差があることから、モスクワ時間で午前中の交渉開始といっても、日本では既に夕方、議論が白熱するとすぐに夜中を迎え、日本側交渉団はモスクワでの交渉とはまた違った疲労感を覚えました。それでも、25日夕方に合意に達し、事務方による確認作業を経て同日夜に了解覚書の署名式が行われました。署名後、日露双方の参加者は拍手で交渉妥結に向けた双方の努力をたたえ、来年は新型コロナウイルス感染症が収まり、モスクワで交渉出来るよう祈念しました。

漁獲量、漁期、操業

隻数、協力金等の操業条件は別表のとおり、2020年とおおむね同内容でまとまりました。今次交渉はこれまでに無い特殊な状況下で行われたこともあり、激しい議論こそあれ、ほぼ現状の条件を維持できました。しかしながら、年を追うごとに交渉に望むロシア側の姿勢は厳しくなっており、予断を許さないこ



交渉風景（手前から萬屋会長、斉藤課長、山崎副会長、藤本次長）

とに変わりはありません。当会は本操業の継続のため、今後も関係先と協力して取り組んでまいります。

なお、今回交渉に基づき、1月4日よりたこ空釣り漁業、5日よりすけとうだら刺し網漁業が操業を開始しています。

漁業種類	漁獲量	操業隻数	操業期間
すけとうだら刺し網漁業	九二ト	二〇隻	一月一日～三月十五日
ほっけ刺し網漁業	一、〇六〇ト	二〇隻	九月十六日～十二月三十一日
たこ空釣り漁業	二五ト	八隻	一月一日～一月三十一日、 十月十六日～十二月三十一日

漁業協力金 二、二〇万円 機材供与 二、一〇万円相当

2021年操業の日ロ地先沖合漁業に係る取り組み

2021年の日ロ双方の200海里地先沖合での操業条件を決める「日ソ地先沖合漁業協定」に基づく日ロ漁業委員会第37回会議は、11月30日から12月9日までの日程でコロナ禍の影響によりウェブ会議で開催されました。

これに先立ち、北海道水産会は、関係業界とともに道及び国に対する要請活動を11月6日及び11月10日11日の3日間で行いました。



伊東農林水産副大臣への要請

2021年の操業条件整備にあたっては、本道周辺水域での資源の悪化や国内市場での魚価の低迷など漁業経営が逼迫している現状を考慮し、出漁漁船の経営維持が図られるよう水産庁、外務省及び道内選出国会議員等に強く要請しました。

- ① 交渉に当たっては不測の減船等の事態が生じないよう配慮し、早期に妥結をみるよう取り進めること。
- ② 操業条件等については、関係団体が要請している操業水域の復活、拡大及び漁獲割当数量の確保が図られること。
- ③ 協力費については、漁獲割当量相互の協力費中断の継続が図られること。
- ④ 通報システム及びロシア公務員の乗船については、操業実態を十分勘案し、特にモニタリングサービスク金の据え置き等負担の軽減や円滑な操業が確保されること。
- ⑤ ロシア漁船の操業については、我が国沿岸水域における漁具被害の発生防止など指導を強化するとともに、密漁・密輸水産物の輸入取締り等について、一層の強化が図られること。
- ⑥ 北方四島周辺水域での外国漁船の操業は認めないこと。



佐藤道水産林務部長への要請



入谷外務省ロシア課長への要請



藤田水産庁資源管理部長への要請

二〇二一年の日本二〇〇海里水域におけるロシア漁船の操業条件

区分	主な魚種			漁獲割当量	区分
	いわし	さば	いとひき だら		
二〇二一年	二二、三五〇トン	五、五〇〇トン	一五、〇〇〇トン	九〇、〇〇〇トン	二〇二一年
二〇二〇年	二二、三五〇トン	五、五〇〇トン	一五、〇〇〇トン	九〇、〇〇〇トン	二〇二〇年
増減	〇トン	〇トン	〇トン	〇トン	増減

交渉は、日本政府代表の藤田仁司水産庁資源管理部長とロシア政府代表のサフチュクP・S・連邦漁業庁副長官の間で進められ、日ロ双方の200海里水域における相手国漁船の漁獲割当量等の操業条件について協議が行われました。

内容については、相互入漁及び有償入漁は魚種別割当量、協力費も含め左図のとおり、前年同様となりました。

交渉妥結に尽力されました政府代表をはじめ代表団の皆様方のご労苦に対し、深く感謝申し上げます。

二〇二一年のロシア二〇〇海里水域における日本漁船の操業条件

(一) 相互入漁(相手国の二〇〇海里内で漁獲する量が互いに等量で操業するもの)

区分	主な魚種			漁獲割当量	区分
	まだら	いか	さんま		
二〇二一年	八二〇トン	五、八一四・二五トン	七〇、九二七・四トン	九〇、〇〇〇トン	二〇二一年
二〇二〇年	八二〇トン	五、八一四・二五トン	七〇、九二七・四トン	九〇、〇〇〇トン	二〇二〇年
増減	〇トン	〇トン	〇トン	〇トン	増減

(二) 有償入漁(日本漁船がロシア側に入漁料を支払い操業するもの)

区分	漁獲割当量	見返り金額
二〇二一年	一、〇六二・二トン	四、一一二・二万円
二〇二〇年	一、〇六二・二トン	四、一一二・二万円
増減	〇トン	〇万円

令和2年度北海道水産会第2回理事会開催

令和2年12月10日に令和2年度第2回理事会を書面開催致しました。

理事会での議案等は、次のとおりです。

議案第1号 令和2年度上半期事業報告について

議案第2号 令和2年度上半期計算書類(貸借対照表、損益計算書、貸借対照表・損益計算書の附属明細書、財産目録)について

議案第3号 会員の入会について(根室地区小型はえなわ協

議会)

報告事項第1号 理事の補欠選任について

2名欠員となっていた理事が下記の通り選定されましたので報告致しました。

理事 中田隆明

理事 大谷由博

各議案いずれも全会一致で原案の通り、承認可決されました。

北方地域漁業権をめぐる活動

北方地域漁業権補償推進委員会理事会と 代議員会の合同会議開催

令和2年度北方地域漁業権補償推進委員会の理事会及び代議員会合同会議を12月2日書面決議により行いました。

合同会議における審議は次のとおりです。

- 1 令和元年度事業報告及び収支決算について
 - 2 令和2年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
 - 3 任期満了に伴う役員の改選について
 - 4 要望活動の実施について
 - 5 会員団体の消滅に伴う新会員の加入について
 - 6 規約の改正について
- いずれも原案のとおり承認されました。

北方地域漁業権補償推進委員会の 道及び中央への要請

北方地域旧漁業権補償措置の実現に関しては、昭和25年以降70年にわたって毎年補償要望を行っていますが、全く進展が無く現在に至り、元島民の高齢化に伴い物故者が増加しています。

今年度は菅新総理が就任し、日ロ関係も引き続き平和条約締結に向け何等かの進展があるものと期待されていますが、補償措置実現のためには、漁業権問題は未解決であることのアピールが必要であり、更に認識を深めて頂くために要望活動を実施しました。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大のため、訪問は道内だけとし、中央へは書面にて要請を行いました。要望先につきましては、次のとおりです。

訪問日及び訪問先

書面発送日及び要請先

12月2日、道議会議長及び副議長、北方領土対策特別委員会委員長、水産林務委員長、水産林務部長、北方領土対策局長、12月2日、内閣府特命担当大臣、副大臣、政務官(沖縄及び北方対策担当)、衆議院並びに参議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会委員長と理事及び委員、内閣府北方対策本部審議官、参事官ほか



北海道議会村田議長への要請

北海道水産会では、食育研修や地産地消を図るための事業として各地区の漁業士会、漁協女性部連絡協議会、漁協青年部連絡協議会等の関係機関と共催して「食育・魚食普及研修会」を行っております。令和2年はコロナウィルス感染拡大防止のため、予定していた研修会が大幅に減少し、旭川調理師専門学校と北海道大谷室蘭高校の2件の開催となりました。マスクの着用・こまめな換気・消毒などを徹底しての開催でした。旭川調理師専門学校では、試食の際、前年ではバイキング形式でしたが、今回は一人一人のお膳と、工夫を凝らしての試食となりました。北海道大谷室蘭高校では、ホッキ貝を使つての出前授業でしたが、次回は、ホッキ貝以外の胆振地域の魚種の出前授業を行いたいと来年に向けて既に考えてくれているようです。

令和3年はコロナウィルス感染拡大などの収束や防止の中で、もつとたくさん小学校・中学校・高校や短期大学、調理専門学校、一般の人たちによる地域での開催などが増えて、皆さんの「おいしい」という笑顔がもつと増えてほしいと思っています。

【旭川調理師専門学校】



【北海道大谷室蘭高校】



漁師になりたい人々と浜をつなぐ活動

北海道漁業就業支援協議会

北海道漁業就業支援協議会が事務局となり取り進めている担い手確保育成関連事業としては、別表に示すとおり3種類があります。

1. 漁業人材育成総合支援事業は、フェア（相談会）開催、長期研修、資格取得の内容であり、新規就業者の確保育成を支援しています。

5月のフェアは、コロナ禍で中止となり、7月以降の研修開始がなく、今年度は、継続13名、新規7名の研修実施となりました。

2. 北海道漁業就業支援協議会事業は、国の長期研修後に引き続き60日（80日の継続研修です）の継続研修です。国の長期研修に引き続き3名が研修を継続しました。

3. 漁業就業体験サポート委託業務は、一週間程度の漁業体験により長期研修につなげることを狙いとしています。

4 地区からの募集があり3名の参加がありました。



【長期研修（上磯郡漁協）作業場の片付けも大切】

担い手確保育成関連事業一覧（国・北海道）

北海道漁業就業支援協議会

事業名	実施事業	内容	期間等	参加人数等
漁業人材育成総合支援事業（国補助）	漁業就業促進情報提供事業	フェア開催	毎年2月、5月	出展36名、来場22名
	長期研修支援事業	長期研修	1年及び3年	継続13名、新規7名
	経営・技術向上支援事業	資格取得	随時	2月下旬確定
北海道漁業就業支援協議会事業（道補助）	新規漁業就業者確保対策事業	短期洋上研修	国からの継続（60～80日）	えりも、北るもい、室蘭 各1名（継続に含まれる）
漁業就業体験サポート委託業務（道委託）	漁業就業体験事業	漁業体験	一週間程度（6～10月）	石狩、寿都、上ノ国各1名

新規（7名）と継続（4名）を対象に受入漁協に足を運び、研修生から研修の進行状況や意見等聞き取る面談活動を実施しました。内容は、別表（面談一覧）に示したとおり、研修取り組みへのきっかけや今後の抱負等について意見交換する事が出来ました。

水産経営課、指導所の参加協力で効果的に実施できました。



【利尻漁協 仲間作りしています】



【北るもい漁協（天売）「独立、目指しています」】



令和2年度 長期研修生の面談一覧

項目 月日	漁協	出身地	研修漁業種類	取組への経過・状況等
2.07.22	北るもい	千葉県	たこ函、なまこ桁	協力隊の関わりで、引き続き漁業就業を目指した
2.08.17	増毛	増毛町	えびかご、刺し網	地元出身。知人紹介で一番漁をする親方を選んだ
2.08.18	北るもい	東京都	刺し網、えび桁曳	漁業に興味があった。親方と出会いフェアに参加
2.08.18	北るもい	帯広市	ひらめ曳、たこ漁	ネットでフェアを知り、親方と運命的出会いとなる
2.08.31	利尻	美唄市	刺し網、採介藻	妻の出身地での暮らしを希望。採介藻を中心とする
		札幌市	こんぶ養殖	漁師は格好いいと思う。漁業権取得しやすいので選定
		北見市	刺し網、採介藻	ほたて漁業の手伝いがきっかけ旅行に来て気に入った
		札幌市	こんぶ養殖、採介	アルバイトがきっかけ。フェアに2回参加し決めた
2.09.01	船泊	東京都	刺し網、なまこ桁	自然の中での生活を希望、親方に出会い礼文を選んだ
2.09.25	古宇郡	泊村	定置、ほたて養殖	子供の頃から地元で漁師をやりたいとUターン
2.10.06	上磯郡	函館市	こんぶ養殖、定置	漁師だった祖父の影響で漁師に憧れ、フェア参加

集まれ！2020漁業就業体験（サポート委託業務）

北海道からの委託業務で「新たな担い手となり得る人材を幅広く確保するため、北海道の農林漁業が新たな就業の選択肢となるよう情報発信する」を目的としており、「漁業体験」と「情報発信」が主な内容となっています。2年度から2カ年事業でスタートしました。

北海道水産会では、地域協議会（市町村・漁協等）が行う立案・運営のサポートを行うとともに、ポスターを作成・公募し（会報誌274号に掲載済み）、



【漁業体験】上ノ国町：鮮度保持



【漁業体験】寿都町漁協：網揚げタイミング！



【漁業体験】石狩湾漁協：ホタテ稚貝、大きくなったよ

業務の円滑な推進に努めました。その結果、今年度は、4地域（えりも町、石狩市、上ノ国町、寿都町）から体験者受入の希望があり、道内外から3名の参加者が漁業を体験しました。この中の1名が漁業就業を目指し、引き続き各地の情報収集、現場（利尻町）の体験にチャレンジを続けています。

農林漁業新規就業安心サポート事業（農林水連携事業）

就業希望者に就業経験者からの経験談を伝え、具体的な行動に移すきっかけづくりの機会とすることを目的としています。この「ジョブセミナー【漁業編】」は、ウェブ上で開催され、アドバイザーとして北海道漁業就業支援協議会へ出演依頼がありました。

当日（令和2年12月19日）は、漁業者2名、利尻町役場4名、協議会1名の出演者と一般からの7名（道職員含む）の参加者があり、情報提供や就業相談等の活発なやり取りで進めました。

キーワードは、「本人のやる気」「地域に馴染む」「信頼を得る」！コロナに負けるな！！



北の大地のオンラインジョブセミナー【漁業編】

渡島総合振興局の独自事業で実施される地域版漁業就業支援フェアであり、北海道漁業就業支援協議会が共催しました。出展団体は、渡島管内に限定されていますが、協議会主催の通常のフェアと同様、漁業就業へ向けた「きっかけ」の場となりました。



【漁業者夫婦と希望者親子、相談中】

渡島フェア開催状況（函館北洋ビル・駅前） 3.2月現在

月日	項目	出展数	来場者	状況
2.11.21		7	3	2名が研修に向けマッチング作業中
3.1.23		5	3	
3.2月		-	-	札幌フェア（2/27）あるため開催しない
3.3月				開催予定

この後も状況により、3月に開催予定となっております。

北海道クロマグロ資源管理体制強化推進協議会

【第6管理期間の11月3日公表までの経緯】

第6管理期間の当初、道知事管理量として小型魚11・3トン、大型魚291・3トンが国から配分されました。

その後、国による他県や大臣許可漁業との融通や台湾からの移譲などによる割当量の授受による2回の変更を経て、前回の会報でお知らせしましたとおり、令和2年8月29日の公表で、定置網漁業を除く採捕では、小型魚51・50トン、大型魚146・35トン。定置網漁業による採捕では、小型魚48・20トン、大型魚153・05トンが配分されました。

これ以後も、（総合）振興局管内での移譲による調整や北海道知事管理量の留保（小型魚3・00トン、大型魚9・10トン）の一部の解除で、小型魚2・00トン、大型魚8・10トンを各（総合）振興局の状況により配分したものが令和2年11月3日に公表されました。

【大中小型まき網漁業から知事許可漁業への小型魚の移譲】

（小型まき）
国の調整により、大臣許可漁業である大中小型まき網漁業の小型魚割当量のうち163・1トンの移譲等が知事許可漁業に対して行われ、北海道は、その一部の22・1トンを受けました。

これと合わせて、各（総合）振興局の漁獲状況をみて、各海域ごと及び採捕の種類ごとに配分が見直されました。

その内容は、定置網漁業を除く採捕では、60・74トン、定置網漁業による採捕では、63・06トンの計123・80トンになりました。

（大型まき）
小型魚の配分見直しに合わせて、大型魚についても同様に見直されました。

その内容は、定置網漁業を除く採捕では、193・09トン、定置網漁業による採捕では、114・41トンの計307・50トンになりました。

●第6管理期間「くろまぐろ」海域別配分量

（単位：トン）

採捕の種類	海域 （（総合）振興局管内沖合）	小型魚（30kg未満）			大型魚（30kg以上）		
		11月3日 公表	12月25日 公表	前回の 増減	11月3日 公表	12月25日 公表	前回の 増減
定置網漁業を 除く採捕	渡島	11.80	44.73	32.93	160.85	177.24	16.39
	檜山	0.70	1.70	1.00	4.80	4.80	0.00
	石狩、後志	1.00	1.00	0.00	1.20	1.20	0.00
	胆振	0.40	0.11	-0.29	0.70	0.65	-0.05
	日高	0.00	0.90	0.90	1.10	1.50	0.40
	十勝、釧路、根室、オホーツク	0.00	0.00	0.00	0.50	0.50	0.00
	宗谷	1.60	1.60	0.00	1.00	1.00	0.00
	留萌	10.70	10.70	0.00	6.20	6.20	0.00
計	26.20	60.74	34.54	176.35	193.09	16.74	
定置網漁業に よる採捕	渡島	63.80	54.80	-9.00	108.85	95.85	-13.00
	檜山	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	石狩、後志	3.20	3.20	0.00	9.60	9.60	0.00
	胆振	1.90	1.56	-0.34	2.90	2.02	-0.88
	日高	1.90	1.00	-0.90	3.00	2.60	-0.40
	十勝	0.70	0.31	-0.39	0.90	0.74	-0.16
	釧路	0.80	0.24	-0.56	1.90	0.00	-1.90
	根室	0.80	0.55	-0.25	1.50	1.10	-0.40
	オホーツク	0.20	0.20	0.00	1.80	1.80	0.00
	宗谷	1.10	0.10	-1.00	0.10	0.10	0.00
留萌	1.10	1.10	0.00	0.60	0.60	0.00	
計	75.50	63.06	-12.44	131.15	114.41	-16.74	
合計	101.70	123.80	22.10	307.50	307.50	0.00	

（資料）北海道の海洋生物資源の保存及び管理に関する計画第1の別記に定める「くろまぐろ」についてを基に作成。（注）定置網漁業とは、定置漁業、底建網漁業、小型定置網漁業をいう。

水産会 HP、
リニューアル!!

開設以来、初の全面リニューアルとなりました。 勿論、スマホにも対応していますよ。
現地写真を挿入し、臨場感Up! 見やすくなりました。 随時、新着情報やトピックス等をUpしますので、是非、ご覧ください。

URL: <http://h-suisankai.or.jp/>

刊行物を紹介します。

就活 ブック ほっかいどうの漁業 お仕事図鑑（発行 北海道水産林務部）

新しい
刊行物が
出来ました。

何を獲る？ どこで働く？ 現役の漁師からの話を聞くと、浜での生活に夢が膨らみます。「あなたも北海道の漁業を支える大事な一人になってほしい」、そんな想いのこもった冊子です。



- ◆ 就業形態（雇用と独立）
- ◆ 各地域の代表的な水産物とその獲り方
- ◆ 漁師にインタビュー（2名）生の声
・・・等々。

北海道漁業就業支援協議会も「相談窓口」として、登場していますよ。

水産会事務所のちょっとしたリニューアル

前号と本号の各所で触れられているとおり、新型コロナウイルス感染症の拡大は、当会の活動にも影響を及ぼしております。前号では事務所の限られたスペースの中で「三密」を避け、室内での飛沫の拡散を防ぐため、各職員の机を段ボールで仕切ったことをご紹介しました。

さて、当会にいらしたことがある方はご存じかと思いますが、当会事務所の床は長年ダークブルーでした。いつの間にか色あせて汚れも目立ち、最近ではコロナ禍の深化と相まって何となく室内が暗くなってきたような感もありました。

そこでというわけではありませんが、事務室の雰囲気を改めるべく、昨年末に床を鮮やかな黄緑色に変えてみました。ご参考までに変更前と現在の事務室の様子をあげておきます。ちょっとリニューアルされた事務室で、職員一同、気分を変えて様々な問題に取り組んで参ります。



変更前



変更後

2021 北海道漁業就業支援フェアのご案内

次のポスターでお知らせしています。

最終の開催有無については、コロナ禍の影響で変更する場合がありますので、随時、HP等をご確認ください。



漁師になりたい人と
漁師を育てたい人との相談会!!

- ✓予約不要
- ✓履歴書不要
- ✓服装自由
- ✓入退出自由
- ✓未経験者歓迎
- ✓家族連れ歓迎

*開催日時:
令和3年2月27日
12:30~15:30

*開催場所:
ホテルライフオート札幌
札幌市中央区南10条西1丁目

*問合せ先: 北海道漁業就業支援協議会(担当:宮本、渡邊)
TEL(011)280-3007/FAX(011)271-5053

E-mail: fish01@h-suisankai.or.jp
ウェブサイト <http://h-suisankai.or.jp/conference>
〒060-0003 札幌市中央区北3条西7丁目 北海道水産ビル
一般社団法人 北海道水産会内

新型コロナウイルス
感染対策を
実施致しますので、
ご協力お願いします!!

なお、感染拡大の状況により、
開催方法の変更や中止の対応を
検討しています。

主催: 北海道漁業就業支援協議会 / 北海道

北海道水産会 No.275

発行日 令和3年2月1日
編集 一般社団法人 北海道水産会
発行 一般社団法人 北海道水産会
札幌市中央区北3条西7丁目1番地(北海道水産ビル内)
発行人 川崎一好
電話 (011)271-5051
FAX (011)271-5053
URL <http://h-suisankai.or.jp>
印刷 株式会社 水産北海道協会

Hokkaido Fisheries Association.
一般社団法人 北海道水産会

北海道水産会 北海道漁業就業支援協議会

MENU



21世紀北海道の水産業振興を担う団体です

お知らせ
NEWS

2021.01.6
令和3年 年頭所感

2020.11.6
「ウェブサイト再開」のお知らせ！

2020.11.5
「北海道水産会」会報誌 274号を発行しました。

2020.08.4
「元気でやってるかい？」面談開始！！

2020.07.13
「2020漁業就業体験者」の募集を開始しました。



北海道で
漁師
になろう！

北海道漁業就業支援協議会
Hokkaido Fisheries Association.

CLICK HERE

Hokkaido Fisheries Association.
北海道漁業就業支援協議会

北海道水産会 北海道漁業就業支援協議会



北海道で 漁師 になろう！

お知らせ
NEWS

2021.02.5
「北海道で漁師になろう！」漁業就業支援フェア【運営変更のお知らせ】-②

2021.02.5
「北海道で漁師になろう！」漁業就業支援フェア【運営変更のお知らせ】-①

2020.12.21
「北海道で漁師になろう！」漁業就業支援フェアのお知らせ（正規版）

2020.12.2
「漁師がゲストのトークイベントに参加しよう！！」

2020.11.16
「漁業体験」大変よく出来ました。（寿都町地域編）

これまでの一覧



北海道漁業就業支援協議会とは？



北海道で漁師になろう



漁師を探している人



漁師になるにはQ&A

一般社団法人 北海道水産会

〒060-0003

札幌市中央区北3条西7丁目1番地 北海道水産ビル内

TEL: 011-271-5051 FAX: 011-271-5053

E-mail: fish10@h-suisankai.or.jp URL: http://h-suisankai.or.jp/